

第 24 期・第 16 回科学者委員会 研究計画・研究資金検討分科会 議事要旨

日時：2020 年 2 月 26 日（水） 10:00～12:00

会場：日本学術会議 6-C (1) 会議室

出席者（敬称略）：相澤、小澤、亀田（ビデオ）、武田、丹下、藤井、古谷、松尾、
山崎、大矢根、駒井

欠席者（敬称略）：大山、西條、中村、渡辺

事務局（敬称略）：犬塚、高谷、大澤

1) 前回議事録（案）の承認について

分科会終了時までに修正事項等の申し出はなく、原案通り承認された。

2) MP2020 策定過程における問題点と今後の課題

MP2020 策定過程をふり返り、ポイントとなる点をいくつか挙げて議論した。

- ・分科会委員は提案の代表者になれない点は事前の確認事項とすべきであった。
- ・分科会委員は評価小委員会へ委員として割り当てられるが、分野外でもあるため、評価には直接加わらず、策定方針の説明・審議の見守りと必要に応じて助言する立場を貫いた。
- ・継続の重点大型研究計画（3 期未満まで）を定義して、継続課題はヒアリングを免除し、各分野別の評価小分科会の要件審査結果を基に本分科会で選定を行った。MP2020 提案課題中では、6 件が 3 期でリセットとなって、新規に提案された。すべてヒアリングに選定。重点選定は 2 件。
- ・融合領域の定義を簡略化し、担当する評価小委員会を設置した（以前は本分科会で審議）。ただし融合領域の評価の日程がタイトで、次回は早めに開始した方がよい。
- ・学術フロンティア推進事業（10 年でリセット）から MP2020 へ新規計画として提案される課題の取り扱いについて、予め分科会で合意を得ていた。
- ・ヒアリング対象とする課題数は、応募前切前に分科会で議論し、設定しておいた。
- ・重点大型研究計画の選定に当たって、あらかじめ分科会で定めた件数をヒアリングにおける評価順位を基に審議・選定し、それに加えて分野間のバランスを考慮し、1 件の追加を行った。
- ・ヒアリングには、省庁、資金提供機関の関係者の傍聴を認めた。ヒアリング 2 週間前に取扱注意でプログラムを通知。発表資料は当日机上配布（持ち帰り不可）。参加者は、7 機関延べ 32 名。
- ・ヒアリング結果（重点大型研究計画の選定結果）の公表は提言の発出（1 月 30 日）により行った。内定を事前に通知すべきかどうかは議論があったが、行わなかった。
- ・分科会委員等への働きかけを行わないよう、全提案者に早めに通知した方がよい。

等々。

3) 第 25 期への引き継ぎ事項・資料の作成

前回からの踏襲、変更点をたどれるように時系列に沿って整理された。そのため 24 期分科会の会議資料、議事録等を次期分科会へ引き継ぐこととした。

4) その他

広報用のパンフレットを作成する。選定された重点大型研究計画の紹介を入れたカラー刷り。PDF 版を日本学術会議公式サイトで公開して、広く利用してもらう。

以上。